

H29 年度職員研修について

◆目的

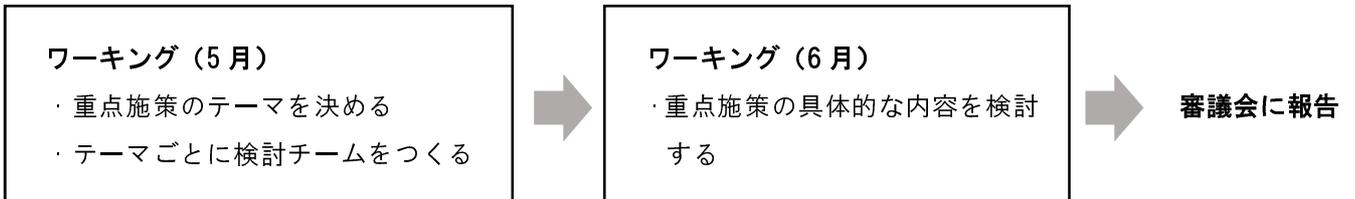
第二次総合振興計画をこのような協働のもとで進めていくためには、計画策定段階から職員と市民が一体となった計画づくりを進めていくことが重要である。そのために、職員（主に課長補佐・係長）を対象とした各課横断型の重点施策を考えていく場としての「ワーキンググループ」を設置するとともに、主として若手職員を対象とした連携や協働に関するスキルアップ（知識・技術の向上）に向けた研修を実施する。

◆内容

○ワーキンググループ

5月～6月 2回程度

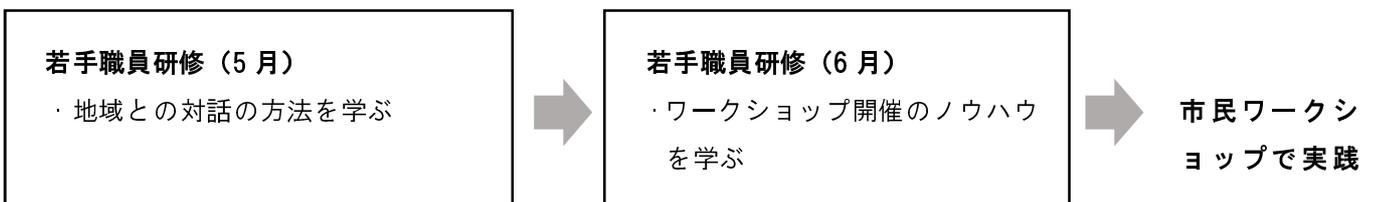
- 主に課長補佐・係長が対象
- 審議会で決定した枠組みをもとに、2回のワーキングで各課横断の重点施策として検討する。



○若手職員対象研修

5月～6月 2回程度

- 基本は若手職員が対象：誰でも参加できる形態（行政職員有志）
- ワークショップのノウハウが学べる内容
- ・研修で得たノウハウを使って市民ワークショップ運営に参加



市民ワークショップ企画

◆背景・目的

第二次総合振興計画の枠組みに関して、地域の方々に意見を求める場として、市民ワークショップを開催する。また、計画に対する意見を求めるだけでなく、地域の方々の学びの場、交流の場として活用できるような場づくりを行う。

- 計画の内容（枠組み）に対して意見をもらう
- ワークショップ参加者どうしの交流を行う



◆内容

南丹市の市域が広く活動者が各地域に点在していることや、居住者が高齢であることから、支所などの拠点に集まって、ワークショップを開催するのは難しい。そこで、旧町ごとに3カ所程度の会場を設置し、小規模で交流しやすい（意見が言いやすい）形でのワークショップを実施する。

期間：7月に6日間程度（1日2回開催）

- ・南丹市内の公共施設や市民活動従事者の活動拠点を巡りながら、小規模型連続ワークショップを開催し、計画に関する意見交換、交流を行う。
- ・参加者は、各地域住民（公募）、行政職員

○プログラム（3時間程度）

・計画の説明（30分程度）

何を検討してもらうか？

→テーマ、将来像

→各地域で重点的に実施したいテーマ

→定住人口、交流人口、活動人口を増やすに必要なこと

と

・交流（2時間程度）

- ・各地域のワークショップの内容については、ニュースレターにとりまとめ、web上などで公開し、情報公開を行う。